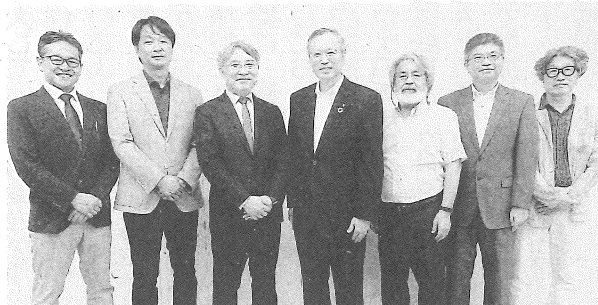


「研究・創造拠点への一步に」

ジャーナリズム学専攻 専修大大学院に來春設置



大学院でジャーナリズム学を教える教授陣ら。左端から齋藤実教授、李宇諤教授、山田健太教授、佐々木重人学長、伊藤博明教授（大学院文学研究科長）、野口武悟教授、武田徹教授＝23日、東京都千代田区で

専修大（東京都千代田区）に來年4月、大学院ジャーナリズム学専攻（修士課程）が開設されること正式に決まり、同大が23日、報道各社との懇談会で詳細を明らかにした。

（服部展和）

ジャーナリズム学専攻は、大学院文学研究科に属し、生田キャンパス（川崎市多摩区）に開設する。「ジャーナリズム研究」「アーカイブ研究」「スポーツインテリジェンス研究」の三つの研究領域を設け、専任教員ら14人が指導に当たる。定員は1学年5人。学部か

らの進学者のほか、社会人の学び直しも想定。一般入試は秋と冬の年2回実施する。大学院での「ジャーナリズム学」専攻の開設は国内初という。

専修大でのジャーナリズム研究は、1966年に文学部に設置されたマスコミ・ジャーナリズム講座が始まり。2010年に人文・ジャーナリズム学科が開設され、19年にジャーナリズム学科へと改組した。

佐々木重人学長は「現役学生や、自身の能力を高める勉強をしたい社会人らの期待に応えられるのではないか」と抱負を話した。

開設される大学院ジャーナリズム学専攻でも指導に当たる、文学部の山田健太教授は「人材輩出の拠点から研究・創造の拠点への一步としていきたい」と期待を込めた。

浅田次郎さんが講演・シンポ 8月20日、専修大で



専修大の大学院ジャーナリズム学専攻開設と、東京新聞が9月に創刊140周年を迎えるのを記念し、本紙と専修大の共催で、8月20日に講演&シンポジウム「戦争を伝えるということ」を開催します。作家の浅田次郎さん＝写真＝の講演などがあり、聴講無料。事前予約が必要です。

8月20日午後3時から、専修大神田キャンパス1号館303教室（東京都千代田区神田神保町3の8）で開催。浅田さんが

「戦争と文学」の演題で基調講演した後、「世界から戦争をなくすには」をテーマにシンポジウムを開きます。パネリストは浅田さん、能條桃子さん（NO YOUTH NO JAPAN 代表理事）、山田健太さん（専修大ジャーナリズム学科教授）、児玉恵美さん（難民問題研究者）。



応募は8月4日まで本紙ウェブサイトの特設ページ＝QRコード＝から。または往復

はがきで返信用宛名に氏名、郵便番号、住所、往信用裏面に①氏名（かな）②郵便番号③住所④性別⑤生年月日⑥電話番号⑦メールアドレス（あれば）⑧「8月20日の講演&シンポジウム参加希望」と明記し、〒100-8505（住所不要）東京新聞新聞開発室「140周年感謝イベント」係へ。8月4日必着。定員を超えた場合は抽選。問い合わせは平日午前10時～午後5時、東京新聞エンタープライズ＝☎03（6910）2541＝へ。